

事業名	看護師等修学奨励費			調査番号	40
細事業名	看護職員修学資金貸与事業費(平成31年度)	財務コード	086304		
担当部課室	福祉保健 部	医務 課	看護 担当 (内線)	3425	

I 事業の概要

実施期間	始期 H25 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 県看護職員修学資金の返還債務を有する者	その対象をどのような状態にして 口座振替による返還金納入を可能にし、被貸与者の返還しやすい環境を整える。	結果、何に結びつけるのか 期限内納入率の向上による督促業務の縮減
	内容 山梨県看護職員修学資金返還金の口座振替による収納事務を山梨中央銀行に委託する。 (単価契約ではなく、業務一式としての委託契約。)		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	目標 口座振替件数(件) 調定件数に占める口座振替件数の割合(%)	実績(見込)	836	801	770	776	802	812	820
		達成率	442	580	636	690	741	768	
		達成区分	52.8	72.4	82.5	88.9	92.3	94.5	
		達成区分	c	c	b	b	b	b	
成果指標	目標 口座振替期限内納付件数(件) 口座振替件数に占める期限内納付の割合(%)	実績(見込)	442	580	636	690	741	768	
		達成率	409	539	589	627	664	740	
		達成率	92.5%	92.9%	92.6%	90.9%	89.6%	96.4%	
		達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		27	27	27	27	27	28	28	

III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価 調定件数に占める口座振替件数の割合は上昇傾向にあり、30年度時点において件数ベースで9割以上の返還が口座振替により行われている。
成果指標	b	

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	調定件数に占める口座振替件数の割合、口座振替件数に占める期限内納付の割合のいずれの割合も上昇傾向であり、引き続き成果の向上が可能と考えられる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
その他	説明	県の債権管理であり且つ成果向上の余地があり、口座振替件数の増加により1件当たりのコスト低減が図られ、効率的に執行されている。		
見直しの必要性	無	県の債権管理であり且つ成果向上の余地があり、口座振替件数の増加により1件当たりのコスト低減が図られ、効率的に執行されている。		

V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。